

青森県立種差少年自然の家

指定管理者業務水準書

令和8年6月

青森県教育委員会

目 次

I 管理の基準

1	利用時間	1
2	休所日	1
3	開所時間及び休所日の設定、変更	1
4	施設の利用許可	1
5	施設利用実績の報告	1
6	有資格者の配置	1
7	職員の配置基準	1

II 業務の範囲

1	施設の利用許可に関する業務	2
2	施設の維持管理に関する業務	2
3	施設の業務の実施	2
4	自主事業	2
5	物品の管理	2
6	リスク分担	3

III 管理における留意事項

1	安全・信頼の確保	3
2	学校及び市町村教育委員会との連携・調整	3
3	安全管理・危機管理マニュアルの作成	3
4	指定管理業務に係る経理規程等について	3
5	業務の引継ぎ	3

別紙 1	青森県立種差少年自然の家 施設の概要	4
別紙 2	施設の利用許可に関する業務	5
別紙 3	施設の維持管理に関する業務	7
別紙 4	施設の業務の実施	14
別紙 5	種差少年自然の家 備品台帳、美術品一覧表、図書一覧表	21
別紙 6	公有財産一覧	28

(参考資料 1)

令和 5・6・7 年度 種差少年自然の家 主催事業 実施状況

(参考資料 2)

令和 5・6・7 年度 種差少年自然の家 自主事業 実施状況

(参考資料 3)

令和 5・6・7 年度 種差少年自然の家 引率者・指導者等研修事業 実施状況

青森県立種差少年自然の家

指定管理者業務水準書

青森県立種差少年自然の家の指定管理者が行う業務の内容及び範囲等は、この水準書による。

I 管理の基準

1 利用時間

利用時間は原則として、次のとおりとする。

- ① 宿泊の場合 入所及び退所は午後1時
- ② 日帰りの場合 午前8時30分から午後4時30分まで

2 休所日

休所日は年末年始（12月29日から1月4日まで）とする。

3 開所時間及び休所日の設定、変更

開所時間及び休所日は、1及び2を基準とし、指定管理者が青森県（以下「県」という。）の承認を受けて定めることとする。

また、必要と認めるときは、変更することができる。

4 施設の利用許可

施設の概要は別紙1のとおりであり、指定管理者が施設の利用許可を行う。

5 施設利用実績の報告

指定管理者は、前月の施設利用実績（利用月日、利用者（団体）名、利用人数等）について別に定める様式により毎月10日までに県に報告する。

6 有資格者の配置

指定管理者は、業務を実施するに当たり必要な官公署の免許、許可、認定等を受ける。個々の業務について再委託を行う場合には、当該再委託先は免許、許可、認定等を受けている者とする。

7 職員の配置基準

(1) 職員構成

職員構成は、原則として以下の担当及び人数とし、業務の実施に支障がないよう適宜配置する。

- | | |
|-----------|-----------------|
| ・ 責任者（所長） | 1名 |
| ・ 庶務等担当職員 | 5名以上（事務2名、技能3名） |
| ・ 研修等担当職員 | 4名以上（責任者兼務可） |
| ・ 当直員 | 1名以上 |

(2) 研修等担当職員

研修業務等を担当する職員について、次の資格及び経験を有する者を配置する。

① 研修担当責任者

社会教育主事の資格を有し、かつ、社会教育主事としての実務経験が1年以上あり、他の職員に対する指導能力を有する者を1名以上配置する。

※ 責任者（所長）が兼務することも可能

② 研修担当スタッフ

自然体験活動に関する指導者資格を1つ以上有し、かつ、自然体験活動の指導経験が1年以上ある者を3名以上配置する。

※ 自然体験活動に関する指導者資格は、研修担当スタッフ全員が1つ以上有していることが望ましく、3名以上の配置が困難な場合は、上記資格を有する者を1名以上配置し、指定管理初年度中に2名以上が資格を取得するよう努める。

(自然体験活動指導者資格の例)

- ・自然体験活動指導者養成事業修了者（国立青少年教育振興機構）
- ・キャンプディレクター（日本キャンプ協会）
- ・ネイチャーゲームリーダー（日本シェアリングネイチャー協会）
- ・自然観察指導員（日本自然保護協会）
- ・RAC指導員（川に学ぶ体験活動協議会）
- ・ウィルダネスファーストエイド野外災害救急法（ウィルダネスメディカルアソシエイツジャパン）

(3) 宿泊利用時等の職員配置

宿泊を伴う利用がある場合、原則として午前7時45分から午後9時15分までの間、最低1名の研修等担当職員を配置する。

また、この他に当直員を年間を通じて配置する（休所日を含む。）。

(4) 職員の勤務時間

次の例を参考とし、業務に支障がないように設定する。

(例)

- | | |
|------|--------------------|
| 通常勤務 | 午前8時15分から午後5時まで |
| 早出勤務 | 午前7時45分から午後4時30分まで |
| 遅出勤務 | 午後0時30分から午後9時15分まで |

II 業務の範囲

1 施設の利用許可に関する業務

別紙2のとおりとする。

2 施設の維持管理に関する業務

別紙3のとおりとする。

3 施設の業務の実施

別紙4のとおりとする。

指定管理者は、別紙4の業務を実施するほか、施設の業務の実施内容について、SDGsの理念を踏まえた事業等を計画することができる。

4 自主事業

指定管理者は、県民の自然体験活動及び施設の利用促進を図る観点から、施設の設置目的から逸脱しない範囲で、自らの創意工夫による事業を実施することができる。

ただし、自主事業に係る経費は、指定管理料に含めないこととし、参加料を徴収する場合は教材費、傷害保険料等の実費程度分とする。

5 物品の管理

- ・事前に用意する備品等は別紙5（令和8年6月現在）のとおり。
- ・これらの物品は、物品管理簿を備えて適切に管理するものとする。
- ・備品についてはあらかじめ県と協議して購入又は廃棄することとし、購入又は廃棄後、

県に報告するものとする。

6 リスク分担

県と指定管理者のリスク分担は、概ね次表のとおりとし、詳細は協定書で定める。

項 目	指定管理者	県
施設の維持管理	○	
施設の補修	○ (50万円未満)	○ (50万円以上)
安全衛生管理	○	
事故火災による施設の損傷	○ (責めに帰する場合)	○ (左記以外)
利用者への損害賠償	○ (責めに帰する場合)	○ (左記以外)
包括的管理責任		○

Ⅲ 管理における留意事項

1 安全・信頼の確保

少年の健全育成を図る教育機関として、常に生命の安全及び信頼の確保に努める。
また、学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律の趣旨を踏まえ、職員、ボランティア等への周知・啓発に努める。

2 学校及び市町村教育委員会との連絡・調整

利用の大半を占める小・中・義務教育学校等の教育計画に基づく集団宿泊訓練等について、円滑に実施できるよう十分に配慮し、学校と適切に連絡・調整を図る。
同様に、各小・中・義務教育学校等を所管する市町村教育委員会についても適切に連絡・調整を図る。

3 安全管理・危機管理マニュアルの作成

緊急の自然災害、事故、トラブル等に対応するため、県と協議の上、安全管理・危機管理マニュアルを作成する。当該マニュアルは、活動プログラム等の指導に関することと、施設の維持管理に関することの双方の観点から作成すること。
また、主な自然体験活動の実地訓練や、事故を想定した救助訓練等を定期的実施する。

4 指定管理業務に係る経理規程等について

指定管理者は、指定管理業務に係る経理規程・稟議規程等を定め、適切な財務会計処理を行う。

5 業務の引継ぎ

指定管理者として選定された団体は、令和9年4月1日から指定管理業務を円滑に実施できるように、指定決定通知後（青森県議会で議決後）、現在の指定管理者及び県職員と3者により業務の引継ぎを行うこととする。

青森県立種差少年自然の家 施設の概要

1 所在地

青森県八戸市大字鮫町字膳並平 2 - 2 6

2 敷地面積

65,977 m²

3 建物面積

3,488 m²

4 宿泊定員

館内：200人 キャンプ場：125人

5 主な施設

(1) 屋内施設

棟名	1階	2階
研修棟	所長室・会議室・医務室・事務室 食堂・厨房・玄関ホール	大ホール 小ホール 自然観察室・自然観察準備室 視聴覚準備室
宿泊棟	宿泊室 11室(8人用) 2室(3人用) ※車椅子使用者対応 リーダー室 1室(5人用) 宿直室・ボイラー室・シーツ室 トイレ(男女) 浴室(男女)・物置	宿泊室 13室(8人用) リーダー室 1室(5人用) 物置・トイレ(男女)
プレーホール (体育館)		

(2) 屋外施設

キャンプ場	キャンプセンター・炊事場かまど数24 常設テント13張(5月～10月)・貸出テント17張(4×17) 第1営火場・トイレ(男女)
その他	つどいの広場・あそびの広場・なかよし広場・うんどう広場・ 自然観察林・第2営火場・駐車場

施設の利用許可に関する業務

1 次年度の利用受付

(1) 調査票の送付

次年度の利用希望を把握するため、調査票を送付する。

- ① 梵珠少年自然の家との連名で、市町村教育委員会を通じ県内の小・中・義務教育学校に送付する。

この際、種差少年自然の家からは、三八、上北、下北地区に送付する。

- ② 学校以外の利用団体については、前年度までの利用団体へ直接送付する。

(2) 利用希望の調整

各小・中・義務教育学校及びその他利用団体（以下「団体」という。）からの調査票を受理した後、「利用団体の受入事業に関する内規」に基づき、利用希望の調整を行う。

希望時期に宿泊や活動場所の確保ができない場合は、団体と連絡を取り、第二希望等への変更を打診し調整する。

(3) 調整結果の通知

団体に対し調整結果を通知する。この際、「利用予定一覧表」と「利用許可申請書」を併せて送付する。

(4) 利用許可書の交付

団体から送付される「利用許可申請書」を受理した後、3月上旬までに「利用許可書」を交付する。

2 随時の利用受付

(1) 団体からの申込対応

随時の団体からの利用申込について、団体の希望日が利用可能な場合は、当該団体に対して「利用許可申請書」の提出を依頼する。

(2) 利用申込の受付・決定

団体からの「利用許可申請書」を受理後、4日以内に「利用許可書」を作成して交付する。また、「利用予定一覧表」を更新する。

3 団体との事前打合せ

団体の利用に当たって、利用日の1か月前までに種差少年自然の家において事前打合せを行う。

事前打合せの内容は、以下のとおりとする。

- ① 利用者数、宿泊者数の確認
- ② 食事の確認（食物アレルギー、食事数変更可能日の連絡）
- ③ 基本生活時間の確認と活動日程表の作成支援
- ④ 活動プログラムが外部講師を必要とする場合は外部講師を斡旋
- ⑤ 入所式・退所式の挨拶等の確認
- ⑥ 活動内容・場所、宿泊部屋の調整・確認
- ⑦ 事前研修・実地踏査の依頼・支援
- ⑧ 風呂の使用時間等の調整・確認
- ⑨ 清掃場所等の調整・確認
- ⑩ 活動経費の支払方法の説明
- ⑪ 事前打合せカード及び活動日程表の確認
- ⑫ その他（ゴミ処理、飲食等について）

4 事前研修・実地踏査・下見対応

利用団体の希望に応じ、事前研修や実地踏査、施設の下見等に対応する。

利用団体が事前研修等で来所した際、各種の相談に応じるとともに施設利用について必要な指導・助言を行う。

また、施設内を案内し、施設の特徴や適切な利用方法等について助言する。

5 利用日の変更等への対応

(1) 変更申込書の提出依頼

利用許可を受けた団体が事情により日程の変更を申し出た場合、変更可能であれば、「変更申込書」の提出を依頼する。

(2) 変更申込書の受理

「変更申込書」の受理後、原本は利用許可書綴りに保管し、コピーを事前打合せ綴りに保管する。事前打合せが終了している場合、事前打合せカードとともに日付順に綴じる。

6 利用取消の受付

(1) 担当者の確認

団体から利用取消の連絡があった場合、受理済みの「利用許可申請書」により、申出者が当該団体の担当者であることを確認する。

(2) 取消申込書の提出依頼

取消理由を確認し、「取消申込書」の提出を依頼する。

(3) 取消申込書の受理

「取消申込書」受理後、「利用許可申請書」綴りに保管し、「利用予定一覧表」等関係データから削除するとともに職員に周知する。

7 諸経費（食費・洗濯代・教材費）

食費	朝食480円、昼食500円、夕食600円（3食1,580円）
洗濯代	館内（シーツ・枕カバー） 280円
	テント泊での寝袋使用时（シーツのみ） 210円
教材費	実費（活動プログラムにより異なる）

※上記諸経費については指定管理者の収入にはならないことに留意すること。

なお、諸経費の価格については、改定することがある。

施設の維持管理に関する業務

1 維持業務

(1) 建物保守管理及び設備機器保守管理業務

業務名	内容	備考
消防用設備等保守業務	消防法に基づき、消防用設備・機器の保守点検を行う。 ・機器・総合点検（年1回） ・機器点検（年1回）	消防法第17条の3の3
自家用電気工作物安全管理業務	自家用電気工作物について定期点検を行う。（年6回）	電気事業法第39条
業務用冷凍空調機器簡易点検業務	業務用の冷凍空調機器について、目視による外観点検を実施し、記録する。 （3か月に1回以上）	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律
暖房用ボイラー及び給湯用ボイラーの整備点検	暖房用ボイラー2基と給湯用ボイラー1基の整備点検を行う。	
煙突アスベスト点検	事務室内煙突のアスベストの状況（囲い込み済みで飛散・ばく露の恐れなし）を、目視による外観点検を実施し、記録する。 （半年に1回以上）	
ボイラー性能検査	暖房用ボイラー検査証の有効期間を更新するため、ボイラー性能検査を受検する。 （年1回）	労働安全衛生法第37条～41条
ボイラー排ガスばい煙量測定	暖房用ボイラーのばい煙濃度を測定する。 （年1回）	大気汚染防止法第16条
重油地下タンク清掃及び漏えい検査	重油地下タンクの清掃及び漏えい検査を行う。（3年以内に1回以上） ※直近の実施予定：令和8年10月	消防法第14条3の2
建築物及び建築設備の点検	建築基準法及び青森県建築物定期点検要領に基づき、建築物及び建築設備の定期点検を行う。 建築物：3年に1回 ※直近の実施予定：令和10年12月 建築設備：年に1回	建築基準法第12条

※ 暖房用ボイラーの運転には、一級ボイラー技師免許以上の資格を要する。

(2) 環境衛生管理業務

業務名	内容	備考
厨房防鼠・防虫業務	給食衛生管理のため厨房の防鼠・防虫業務を行う。(年2回程度)	
調理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の検収、保管及び調理全般 ・食事の配膳及び下膳 ・食器、食缶等及び残飯等の回収 ・食器の洗浄、消毒及び保管 ・残滓及び厨芥等の処理 ・厨房、下処理室、検収室及び洗浄室等の清掃 ・衛生管理の基準に沿った調査、計測及び記録 ・日常清掃(食事提供日毎) ・特別清掃(毎月1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生法 ・学校給食法 ・学校給食衛生管理基準 ・大量調理施設衛生管理マニュアル
職員の腸内細菌検査	調理業務に携わる職員の腸内細菌を検査機関で検査する。(年25回)	
食材検査	食品の衛生管理のため食材を検査機関で検査する。(3品、年2回)	
浄化槽清掃等作業	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽維持管理作業(年12回) ・浄化槽の汲取り及び清掃作業(年1回) ・集水槽清掃作業(年1回) ・浄化槽の汚泥調査及び清掃作業(年1回) ・放流水水質検査(年2回) ・グリストラップ清掃作業(年2回) 	浄化槽法等
高置水槽清掃及び水質検査	高置水槽の清掃及び水質検査(年1回)	水道法第34条の2第1項
簡易専用水道検査	水道法の規定に基づき、簡易専用水道の管理に係る検査を受検する。(年1回)	水道法第34条の2第2項
キャンプセンタートイレの汲取り	年に1回程度キャンプセンタートイレの汲取りを行う。	

(3) 廃棄物処理業務

一般廃棄物を可燃物、不燃物に分別し、業者に収集を依頼する。
可燃物は年56回程度、不燃物は年12回程度である。

(4) 保安警備業務

職員が、施設内を適宜巡回し、不審者・不審車両の進入防止、火の元及び消火器等の消防設備点検、避難誘導線の確保、不審物の発見・処置を行う。
施設の玄関の開錠時間は、開錠は午前6時、施錠は午後9時30分とする。

(5) 当直に関する業務

職員の通常の勤務時間以外の時間に当直員を1名配置する。
当直員の勤務時間及び職務内容は以下のとおりとする。

① 勤務時間

平日	午後5時から午前8時15分まで
土曜日・日曜日・休日の昼間	午前8時15分から午後3時45分まで
土曜日・日曜日・休日の夜間	午後3時45分から午前8時15分まで

② 職務内容

- ・施設及び附属施設並びに敷地内の警備、取締りに関すること。
- ・施設等又はその付近に火災その他の災害が発生した場合、臨機の措置を講じ、かつ、職員、消防署、警察署等関係機関への連絡に関すること。
- ・巡回時間
夜間 午後5時20分、午後10時、午前2時、午前7時40分
土・日・休日の昼間 午前10時、正午、午後2時、午後4時
- ・文書、電報、小包等の受付に関すること。
- ・施設内外との事務連絡及び来所者の応接に関すること。

(6) 清掃業務

施設及び敷地内について、良好な環境衛生、美観の維持を心がけ、施設としての安全かつ快適な空間を保つため、日常清掃及び定期清掃を行う。

宿泊室、廊下、浴室、トイレ等の部屋については、利用団体が清掃を行い、職員が点検確認を行う。利用団体がない場合は、職員が清掃を行う。

① 日常清掃

施設及び敷地内について日常的に清掃を行い、施設設備、備品、器具等が常に清潔に保たれるようにする。

② 定期清掃

日常清掃では実施しにくい箇所の清掃を確実にを行うため、定期清掃を行う。

(7) 宿泊室の整理整頓業務

- ・寝具類（毛布、掛布団・敷布団等）は年1回以上クリーニング、乾燥消毒等を行い、常に清潔な状態を保持する。
- ・シーツと枕カバーは使用の都度クリーニングを行う。
- ・利用団体が宿泊室を利用した場合は、寝具類の整頓及びシーツ等の取替えは利用者が行う。

(8) 植栽管理業務

駐車場周辺及び敷地内の植栽について、散水、施肥、害虫駆除、剪定、除草、草刈、枝払い等を計画的に行い、良好な緑樹の状態を維持する。

・主な場所

進入路、第1駐車場、第2駐車場、つどいの広場、なかよし広場、あそびの広場、自然観察林、うんどう広場、キャンプ場、第2営火場、迷路園

(9) 施設の修繕に関する業務

日常的に施設の点検を実施し、不具合を発見した場合は修繕を行う。

2 管理業務

(1) 受入事業及び主催事業における食事提供

利用団体等の食事の提供に関する業務（食事指導を除く。）は以下のとおり

作業項目	栄養士	調理員
一週間単位で献立を作成する	○	
食物アレルギー対応の献立を作成する	○	
食材を業者に発注する（主催事業は買出し）	○	
納品された食材を検収する	○	○
調理業務		○
保存食を確保する（2週間）		○
職員に検食を依頼し記録する	○	
調理指導、味見、出来上がりの確認を行う	○	
食事の配膳・下膳を行う		○
厨房及び食堂の清掃を行う		○

(2) 食事提供に係る衛生管理業務

食事提供日に行う衛生管理に関する業務は以下のとおり。

作業項目	担当	使用する様式等
厨房稼働日の調理員の健康状態等の確認	栄養士	健康・衛生点検表
衛生管理チェックリストによる日常点検	調理員	日常点検表
厨房稼働日の冷凍庫・冷蔵庫内温度の確認	調理員	冷凍庫・冷蔵庫庫内温度管理表
毎月の可燃物・不燃物の廃棄物量の記録	調理員	廃棄物処理表
年間の施設の可燃物・不燃物の集計	栄養士	廃棄物の処分量
検収簿による納品食材の確認	栄養士	検収簿
調理作業後使用した調理器具等の状態確認	調理員	帰りのチェック表
厨房稼働日の水質検査・残留塩素濃度の測定	栄養士	簡易専用水道・水質検査記録表

毎月の受水槽・高置水槽の点検	職 員	簡易専用水道・水質検査記録表
----------------	-----	----------------

(3) 食事提供に係る定期的業務及びその他の業務

① 定期的業務

食数の提出（毎月）	前月の20日前までに食数を業者に提出する。
調理員の勤務割の作成（毎月）	調理員の勤務割を作成する。
食材定期点検（年2回程度）	給食の衛生管理のための食材の検査を業者に依頼する（3品目、4検査項目）。
衛生面の指導	調理員に対し衛生面の指導を行う。

② その他の業務

利用団体数が比較的少ない10月から3月までの期間を利用し、新メニューの研究及び調理実習を月2回程度行う。

(4) 各種支払業務

- ・光熱水費等
- ・NHK受信料
- ・漁港施設占用料
- ・新聞、雑誌の購入
- ・その他物品購入等

(5) 文書管理

管理業務の実施において作成又は取得した文書等を適切に管理・保管する。
また、それらの文書等の公開に関する規定（情報公開規程）を作成する。

(6) 運営協議会に関する業務

施設の効率的運営を図るため、「青森県立種差少年自然の家運営協議会」を設置する。
本協議会は、種差少年自然の家の運営に関し、責任者（所長）の諮問に応じて意見を述べるものであり、年1、2回程度開催する。

また、協議会の円滑な運営を図るため、種差少年自然の家の近隣の町内会や地域住民に協力員を委嘱し、南浜地区協力者会議を年1、2回程度開催する。

区分	構成員	人数
運営協議会委員	小・中・義務教育学校の関係者、社会教育団体の関係者、学識経験者 等	10人以内
南浜地区協力者会議	地域町内会、地域漁業組合、地域小・中学校、上記以外の地域住民 等	15人程度

(7) 防火・防災管理、緊急時の対応

① 防火・防災管理

種差少年自然の家は、防火管理が義務付けられている防火対象施設であり、併せて自衛消防組織を置く必要があることから、以下の業務を行う。

- ・毎年、消防計画を作成し消防署に提出する。

- ・年2回以上の消火訓練及び避難訓練を実施する。
- ・消防訓練を実施する場合、事前に計画書を消防署に提出し、訓練実施後は報告書を消防署に提出する。

② 緊急時の対応

緊急時においては、青森県教育委員会緊急時対応マニュアルを基本に、「安全管理マニュアル」により対応する。

また、種差少年自然の家は平成26年3月28日より、プレーホール（体育館）等が八戸市の指定避難所となっており、避難所運営を支援する業務が発生する場合があることから、八戸市と連携し、緊急時の対応の確認など情報交換を図る。

③ 安全管理対策等

ア 安全管理等マニュアルの作成

指定管理者は、事故や災害等の不測の事態を想定した安全管理体制を整備するとともに、安全管理マニュアルを現行のマニュアルに基づき作成する。

また、活動プログラムの内容、指導上の観点、注意事項等をまとめた指導マニュアルを現行の指導マニュアルに基づき作成する。

これらのマニュアルは、毎年度見直しを行い、年度当初に県に提出する。

イ 訓練・研修等の実施

指定管理者は、主な自然体験活動の現地訓練や救助・避難訓練、救急救命に関する研修等を定期的に行うとともに、消防署等関係機関との連携を強化する。

ウ 留意事項

- ・消防署等関係機関から安全管理マニュアル等の改善について指導・助言があった場合は、直ちに改善する。
- ・緊急事態等が発生又は発生の恐れがある場合は、速やかに適切な措置を講ずるとともに、県及び関係機関に連絡通報する。

(8) 備品等・財産管理

指定管理者が管理する備品等及び財産は別紙5及び別紙6のとおりとする。

なお、別紙6に記載の財産に異動（取り壊し等）等がある場合は所定の手続を行う必要があるため、あらかじめ県と協議する。

(9) 公衆電話の管理

施設内の公衆電話について、NTT東日本と公衆電話委託契約を取り交わし、同契約に基づき、公衆電話を管理する。

(10) 各種協議会等への加盟

- ・青森県青少年教育施設研究協議会
- ・東北地区青少年教育施設協議会
- ・青森県学校栄養士協議会

(11) ボランティアの会との協働活動

「種差少年自然の家ボランティアの会」は、平成7年2月に設立された組織であり、会員は種差少年自然の家で行われる主催事業において、参加者が安全に楽しく活動できるようにボランティアとして参加・協力している。

ボランティアの会との共同活動に係る業務は、以下のとおりとする。

- ① 会員情報の確認作業（4月）
- ② ボランティアの会の活動を紹介し、加入促進を図る。
- ③ 主催事業等における協力をメール等で依頼し、協力者一覧を作成する。
- ④ 事業当日に支援活動の打合せ、食費等の集金を行う。

- ⑤ ボランティアの会総会への参加、ボランティアの会が実施する事業への協力を行う。

(12) 県立図書館からの収蔵図書の借用

施設を利用する児童・生徒が休憩時間等に関覧するための図書を県立図書館から100冊程度借用する。借用期間は1年であり、借用に当たっては職員が県立図書館に出向いて選定する。

施設の業務の実施

1 受入事業

受入事業とは、種差少年自然の家と学校等の団体が事前に協議してまとめた計画に基づき実施する体験活動等である。

受入事業で施設を利用する団体は、基本的に引率者が活動プログラム指導や生活指導を行うが、活動プログラムの内容により、適宜職員が支援する。

なお、各利用団体に対して1名の職員を担当者として配置する。

(1) 団体の受入時に関する業務

団体受入中は、職員と引率者が入・退所時、夕方、翌日朝に打合せを行う。打合せ項目は以下のとおりである。

打合せ時	打合せ内容	即日利用	宿泊利用
入所時	チェックインカードの確認	○	○
	会計連絡カードの確認	○	○
	支払い方法の説明	○	○
	初日日程の確認	○	○
	子どもの健康確認	○	○
	アンケート用紙等の配布	○	○
	施設利用の確認	○	○
	貸出物品、活動支援の確認	○	○
	食事の確認	(○) ※	○
夕方	子どもの健康確認	×	○
	夜の日程確認	×	○
	引率者の入浴時間確認	×	○
	朝の清掃確認	×	○
	食事の確認	×	○
	シーツの貸出と返却確認	×	○
	宿泊室の電灯の確認	×	○
朝	子どもの健康確認	×	○
	寝具の確認	×	○
	宿泊室の清掃状況の点検・確認	×	○
	日程の確認	×	○
	貸出物品、活動支援の確認	×	○

	部屋チェック点検・確認	×	○
	昼食の説明・確認	(○) ※	○
	清掃状況	○	○
退所時	食費、洗濯代、教材費の振込依頼	○	○

※食事がある場合

(2) 利用団体への指導・支援

- ① 利用団体が基本的な生活時間、利用上の注意を守るよう引率者に依頼するとともに、職員が適宜生活指導を行う。
- ② 利用団体の実施するプログラムが効果的かつ充実したものとなるよう、職員が適切かつ必要な指導・助言などの支援を行う。
- ③ 利用団体が独自のプログラムで活動する場合においても、利用団体への安全指導を行う。

(3) 安全確保のための環境整備

施設の活動場所（屋外施設や遊歩道等を含む。）の環境及び物品の整備に努め、利用団体の安全確保を図る。

(4) 利用許可の取消し・制限

利用団体が青森県立少年自然の家規則第8条の規定に該当する場合には、利用の許可を取り消し、又は利用を制限することができる。

2 主催事業

2-1 種差少年自然の家で開催する主催事業

(1) 事業概要

小・中・義務教育学校児童生徒が家族や仲間とのふれあいを深めながら、自然体験活動や創作活動等さまざまな体験をする機会を提供し、心豊かでたくましい子どもを育てることを目的に、様々な事業を実施するものであり、主な事業名は以下のとおりである。

※実施に当たっては、これまでの実施時期、内容及び回数を基本とすること。

※過去3か年の実績は（参考資料1）のとおり。

- ① たねさしワールド
小・中・義務教育学校児童生徒及び保護者を対象に四季を通じて開催（年6回程度）
- ② サマーキャンプ・ウィンターキャンプ
小学5年生から中学3年生まで（義務教育学校においては5年生から9年生まで）を対象に開催（各年1回）
- ③ 親子で学ぶ防災キャンプ
小・中・義務教育学校児童生徒とその家族を対象に開催（年1回）

(2) 計画から実施までの流れ

- ① 次年度の事業を計画
9月下旬を目処に、これまでの主催事業の反省や改善点を基にして次年度の事業の期日、名称、内容、参加対象等に関する原案を作成する。
- ② 担当者の決定、開催要項の作成、事前実習
ア 新年度当初（4月）に各事業の担当者を決定する。
イ 各事業の開催3か月前に開催要項案を作成する。

- ウ 活動内容に関する事前実習を実施し、作業内容、作業レベル等について確認する。
- エ 事前実習で課題があった場合は内容を修正し、開催2か月前に開催要項を完成する。
- ③ 広報
 - ア 開催1か月前を目処に、関係機関へ開催要項等を発送する。
 - イ マスコミ等への報道依頼を行う。
- ④ 参加申込受付
 - ア 担当者は、電話受付マニュアルを作成し、所員に配布する。
 - イ 電話による受付の場合、職員が申込用紙に必要な事項を記入する。またWebページ等で要項や開催案内を見ることができるか確認し、できない場合には持ち物やキャンセル等について説明し、トラブル等が発生しないよう配慮する。
 - ウ FAXによる受付の場合、申込者に受付確認の電話をし、記載漏れなどがあれば確認して記入する。
- ⑤ 事前準備
 - ア しおり、配布資料、参加者受付名簿、参加者アンケート、広報ポスター、玄関立て看板等の準備
 - イ 講師、看護員等の協力が必要な場合は、関係者等に派遣を依頼する。
- ⑥ 参加者の傷害保険への加入
 - ア 参加者の怪我等に備えるため、傷害保険に加入する。
 - イ 保険料は参加者から活動費と一緒に参加料として徴収する。
 - ウ 開催4日前までに保険会社に申込手続をする。
- ⑦ 参加者の受付
 - ア 参加者から参加費を徴収し、領収書とゼッケン、活動資料等を配付する。
 - イ 参加者から子どもカレッジ（県民カレッジ）手帳の提示があり、受講シールの希望があった場合は、主催事業実施時間の1時間につき1単位分の受講シールを配付する。
 - ウ 当日のキャンセルが発生した場合は、活動が始まる前までに保険会社にキャンセルの連絡をする。
- ⑧ 事業の実施
 - ア 事業の実施に当たっては、研修等担当職員だけでなく庶務等担当職員も参加者に対応する。
 - イ 研修等担当職員は、受入事業における利用団体の引率者の役割を担い、活動プログラムや生活指導を行う。
 - ウ 主催事業を実施する期間は、受入事業は実施しない。
 - エ 主催事業で実施する活動プログラムは、既存のものに加え、新たに開発したプログラムを取り入れていく。また、食事についても通常とは異なるメニューの提供を検討・実施する。
- ⑨ 報告書等の作成
 - ア 事業終了後、事業についての反省会を行い、担当者がまとめる。
 - イ 今後のサービス向上や参加者ニーズ把握のため、満足度調査（アンケート）を行い、その結果をまとめる。
 - ウ 主催事業実施報告書、活動の記録、会計収支報告書を作成する。
 - エ 実施報告書、活動の記録を県に提出する。
 - オ 講師、看護員等への礼状を送付する。

2-2 自然体験活動出前講座

(1) 事業概要

学校や身近な野外活動場所で子どもたちに自然体験活動の場を提供することを目的として、小・中・義務教育学校、子ども会、PTA団体、公民館等の要望に応じ、職員が現地に出向いて自然体験活動の現地支援を行う。

※過去3か年の利用団体・参加者数

令和5年度：	155団体	13,519名
令和6年度：	177団体	16,727名
令和7年度：	181団体	12,829名

(2) 計画から実施までの流れ

① 実施要項の作成・広報

ア 実施内容の検討（1月）

イ 実施要項・広報用ちらしの作成、関係機関への送付（2月）

※送付先

県教育庁生涯学習課、三八・上北教育事務所、三八・上北管内市町村及び小・中・義務教育学校、県立特別支援学校、八戸市公民館、児童館 ほか

② 利用申込受付

ア 2月中旬から利用希望団体の申込を受け付ける。その後、実施予定日の1か月前までに電話で日程や活動内容の相談を行う。対応可能な場合は、申込書の提出（FAX又は郵送）を依頼する。

イ 申込書受理後、事前打合せのための日程調整を行う。

③ 利用団体との事前打合せ

ア 初めての利用の場合は、職員が活動場所を確認するため現地で事前打合せを行う。

イ 利用経験があり、活動支援に支障がないと判断した場合は、電話での打合せとする。なお、電話打合せの際は、事前打合せカードをFAX等で送付して記入を依頼するなどし、利用団体との連絡を密にする。

ウ 事前打合せの内容は、下記のとおりとする。

- ・活動プログラム、利用者数、学年、活動場所の確認
- ・自然の家からの借用物品及び利用団体が準備する物品の確認
- ・自然の家職員と利用団体職員との役割分担
- ・活動日程
- ・安全上の配慮事項
- ・教材費等の支払方法

④ 出前講座の実施

ア 原則として利用団体数が比較的少ない時期（4～5月、10～3月）に実施するが、利用団体の受入れに支障がないと判断した場合は、他の時期に実施することも可能とする。

イ 利用団体は、小・中・義務教育学校、子ども会、PTA団体、児童館、公民館等であり、児童生徒や保護者を対象に、授業、クラブ活動、親子レク等の活動の場で講座を実施する。

ウ 1日当たりの実施件数は原則1件とし、職員1名以上が出向き、体験活動の支援を行う。この際、職員は団体が希望する活動プログラムの材料・道具を持参し、およそ1時間30分から2時間程度の活動を行う。

※活動プログラムの例：屋内・屋外せんべい焼き、どんぐりアート、動物マグネット、竹トンボ等

⑤ 報告書等の作成

出前講座終了後、速やかに事後カードを作成し、次回の出前講座の活動支援に活用する。

2-3 自主事業

指定管理者において自主事業を実施する場合は、これまでの実施内容や趣旨を十分に踏まえて事業内容を企画する。

※過去3か年の実績は（参考資料2）のとおり

3 少年団体等指導者研修

3-1 在学少年宿泊指導者研修

(1) 研修の概要

種差少年自然の家を利用する小・中・義務教育学校及び特別支援学校の引率教員を対象に、自然体験・生活体験を通して児童・生徒の「生きる力」を育むために必要な知識・技能の習得を目的とするものであり、主な研修内容（過去3か年の実績）は（参考資料3）のとおりである。

(2) 計画から実施までの流れ

① 研修内容の企画（1月～2月）

- ア 研修日程、プログラム実習内容等を検討する。
- イ 各プログラムの分担を確認する。
- ウ 開催要項の作成及び研修Q&Aの確認・改善

② 開催要項の発送（3月）

3月下旬を目処に、5月以降に宿泊学習で施設を利用する学校に開催要項を発送し、担当者の研修への参加を依頼する。

この際、参加する教員については県から旅費を支給する（※他県、国立等の教員は対象外）こととなるので、指定管理者は県教育庁生涯学習課担当者に確認の上、旅費支給に係る文書を開催要項と一緒に発送する。

③ 参加者の申込受付（4月上旬 入学式前までに）

④ 事前準備（4月上旬）

- ア 研修参加者名簿、プログラム研修希望、係等の一覧表を作成
- イ 研修担当職員の役割分担、プログラム指導内容の確認
- ウ 研修Q&Aの確認
- エ 同日の利用団体がある場合、各利用団体の活動場所、時間、物品の確認（すり合わせ確認）
- オ 研修講義内容の確認、リハーサルの実施
- カ 活動プログラムの事前実習の実施
- キ 研修会資料、配付物の作成

⑤ 研修の実施

- ア 種差少年自然の家の役割、効果的な活用、プログラムの実習で知識・技能の習得を目的とした研修を実施する。
- イ 利用団体の活動計画の作成の支援を行う。
- ウ 利用団体の担当者と事前打合せをする。
- エ 同時に利用する団体に対しては、団体間で調整するよう指導し、目的にあった活動計画になるよう支援する。

⑥ 報告書等の作成

- ア 事業終了後に、事業についての反省会を行い、担当者がまとめる。
- イ 今後のサービス向上や参加者ニーズ把握のため、満足度調査（アンケート）を行い、参考資料としてまとめる。
- ウ 主催事業実施報告書、活動の記録、会計収支報告書、アンケート調査結果のまとめを作成する。
- エ 実施報告書、活動の記録を県に提出する。
- オ 主要活動プログラム一覧、外部講師、教材一覧等を作成する。
- カ 各団体が作成した活動計画より、当該年度の漁港使用期間を把握（いかに活動実施一覧）し、八戸市長に漁港施設使用許可願いを提出して漁港施設の使用許可を得る。

(提出先：八戸市農林水産部水産事務所)

キ 各団体が作成した活動計画より、当該年度に必要となる物品や教材を準備し、外部講師が必要な場合は要請をする。

3-2 自然体験活動研修会

(1) 研修の概要

自然体験活動の指導者の資質向上を図ることを目的として、小・中・義務教育学校及び関係機関等の指導職員を対象に行う研修事業である。

参加者については、少年団体指導者、市町村社会教育関係者、幼・小・中・義務教育学校教員、高校生・大学生、PTA関係者、種差少年自然の家ボランティア、自然体験活動に興味のある方など、幅広く募集する。

主な研修内容(過去3か年の実績)は(参考資料3)のとおりである。

(2) 計画から実施までの流れ

① 研修内容の企画(1月)

② 開催要項の作成(2～3月)

③ 開催要項の発送・広報(3月)

ア 3月中旬を目処に開催要項等を関係機関へ発送する。

イ マスコミ等へ広報依頼を行う。

④ 参加申込受付

ア 一般参加者については、電話・FAXで受け付ける。

研修の部分参加を認めているため、参加する範囲を確実に確認する。

イ 中堅教諭等資質向上前期研修・中堅教諭等資質向上後期研修の選択講座として参加する場合、青森県総合学校教育センターから参加希望者の申込の連絡通知が届くので、少年自然の家側では、受講届受理及び選考結果について、学校長、所管の市町村教育委員会及び教育事務所に通知するとともに、参加希望者に参加申込書の提出を依頼する。

⑤ 事前準備

ア 参加者への活動支援や安全確保のため、事前実習を行う。

イ しおり、配布資料、参加者受付名簿、参加者アンケート、広報ポスター、玄関立て看板等の準備

ウ 講師、看護員等の協力が必要な場合は、関係者等に派遣を依頼する。

⑥ 研修の実施

ア 自然体験活動研修会は、指導者の資質向上を図るための研修会であることから、小・中・義務教育学校教員や社会教育団体関係者等を対象に実施する。事業の実施に当たっては、研修等担当職員のみならず庶務等担当職員も協力して対応する。

イ 事業で実施する活動プログラムは、研修等担当職員が講師となって行う。外部講師を招いて実施する場合、研修等担当職員は外部講師の支援を行う。

ウ 本研修会を実施する期間は、受入事業は実施しない。

エ 食事について、通常とは異なるメニューの提供を検討・実施する。

4 指導に関する業務

(1) 活動プログラムの開発等

① 少年自然の家にふさわしい活動プログラムを新たに開発する。

② 新たに開発した活動プログラムは、活動プログラム資料や利用案内等に追加する。
また、Webページで閲覧・入手できるようにする。

③ 小・中・義務教育学校の教育活動に資するプログラムを提案する。

(2) プログラム指導資料の改訂

活動プログラムが安全で効果的な活動となるよう、活動プログラム資料を随時改訂する。

(3) 急病、緊急時、自然災害等緊急時の対応

- ① 急病人やけが人が発生した場合、安全管理マニュアルに基づき、救護及び関係部署への速やかな通報、事故報告を行う。
- ② 災害その他の事故が発生した場合は、安全管理マニュアルに基づき、利用者の安全確保を第一に適切な処置を講じる。

(4) 職員研修

- ① 職員の知識の蓄積及び技術の向上を図るため、計画的な所内研修を実施する。
(救命講習、救助訓練、プログラム実習等)
- ② 国立青少年教育振興機構等が主催する研修会を活用する。
- ③ 警察、消防署と連携し、救助、不審者対応等の訓練を実施する。

5 広報・利用促進に関する業務

(1) 広報に関する業務

- ① P R 用ポスター、年間行事案内チラシ等を作成・配付
- ② 少年自然の家の W e b ページの開設・更新
- ③ 種差所報「ニューウェーブ」、ホットニュースの作成・配付・W e b ページへの掲載

(2) 要覧の編集・発行

- ① 要覧の編集・発行計画の作成
- ② 割付計画の作成
- ③ 印刷業者との打合せ
- ④ 関係機関、利用団体等への発送

(3) 利用統計に関する業務

- ① 毎月の利用状況を取りまとめて実績報告書を作成し、県に提出する。
- ② 要覧に掲載する利用状況資料を取りまとめる。
- ③ 県からの要望に応じ、利用状況に関する資料を提供する。

種差少年自然の家 備品台帳

別紙 5

整理番号	品名	規格	個数	配置
1	両袖机	コクヨJIS168	1	事務室
2	両袖机	コクヨMG-109	1	所長室
3	会議テーブル	ネコス NTB-3312メラミン	1	大ホール
4	肘付回転いす	ウチダEX-210	1	事務室
5	肘付回転いす	ウチダEX-510	1	事務室
7	書棚	コクヨMD-S1645	1	所長室
8	耐火書庫	コクヨ HS-30	1	事務室
9	耐火庫	プラス C-7	1	事務室
10	展示架	ウチダSDO-16L-5S	1	玄関ホール
13	案内版	コクヨ GB-G64	1	玄関ホール
14	ノート型パーソナルコンピュータ	NEC VersaPro VY 25A/A-8	1	事務室
15	裁断機	ウチダSC-30	1	視聴覚準備室
16	シュレッダー	MSU-V431	1	事務室
17	簡易無線機	アイコム IC-VM1005CT	1	公用車
18	簡易無線機	アイコム 電源部	1	事務室
19	簡易無線機	アイコム IC-VH35CTM	1	事務室
20	簡易無線機	アイコム IC-VH35CTM	1	事務室
21	簡易無線機	アイコム IC-VH37CTM	1	事務室
22	簡易無線機	アイコム IC-DV55C	1	事務室
23	簡易無線機	アイコム IC-DV55C	1	事務室
24	簡易無線機	アイコム IC-DV55C	1	事務室
27	FFストーブ	サンポット	1	事務室
28	温風ヒーター	サンポット	1	宿直室
29	石油ストーブ	ダイニチ ブルーヒーターFM181F	1	小ホール
30	石油ストーブ	ブルーヒーター	1	プレーホール用具室
31	赤外線ヒーター	VAL-6 Z1	1	プレーホール
32	石油ストーブ	ダイニチ ブルーヒーターFM181F	1	プレーホール用具室
33	冷蔵庫	番号重複 ナショナル NR-B26F2-H	1	医務室
35	冷蔵庫	サンヨー SR-18U-H	1	会議室
36	冷凍庫	番号重複 ホシザキHF150PS	1	検収室
37	冷凍庫	ナショナルNR-FC46FF-W	1	検収室
38	球根皮剥機	P-26	1	検収室
39	業務用冷蔵庫	ホシザキHR-120X	1	検収室
40	保冷库	サンヨーショーケースSMR-U60AG	1	食堂
41	冷蔵庫	富士通ER-46V	1	食堂
42	食器消毒保管庫	ES-1002	1	洗浄室
43	ガスフライヤー	FG-36S	1	調理室
44	ガス焼物機	G-14A-2	1	調理室
45	立体炊飯器	ガス式立体炊飯器RMG-102 2段式	1	調理室
46	立体炊飯器	ガス式立体炊飯器RMG-152 3段式	1	調理室
47	ガステーブル	T-1532A	1	調理室
48	水圧洗米機	PR-15	1	下処理室

種差少年自然の家 備品台帳

別紙 5

整理番号	品名	規格	個数	配置
49	二槽シンク	1500×750×800 槽深	1	下処理室
50	浸透槽	1350×750×800 一槽シンク	1	洗浄室
51	一槽シンク	1500×750×800 槽深400	1	洗浄室
52	食器洗浄機	ﾌｼﾞﾏｯｸｱﾄﾞﾊﾞﾝｽ洗浄機FAD1B52RH	1	洗浄室
53	一槽シンク	1050×750×850食器洗浄機用特注品	1	洗浄室
54	パンラック	愛豊 PL-125	1	休憩室
55	食器材料置台	910×610×1590 棚3段	1	検収室
56	移動式水切台	食器洗浄機用特注品1000×500×700	1	検収室
57	自動秤	自動台秤50キログラム	1	検収室
58	やかん置台	特注下部戸棚付	1	食堂
59	食器置台	特注下部観音開戸棚付	1	食堂
60	食器置台	特注下部すのこ	1	食堂
61	トレーデスペンサー	TOL-TIW	1	食堂
62	パンラック	オールステンレス(1800×400×1500)	1	洗浄室
63	盛付台	愛豊 TK-157	2	洗浄室、調理室
64	作業台	愛豊 TK-157	1	調理室
65	調理台	愛豊 TK-157	1	調理室
66	エレクターシェルフ	1220×460×1580 棚5段 ドーリー付	1	風除室
68	高圧洗浄機	マキタ EHM102	1	倉庫
69	掃除機	ナショナルMC-G410	1	自然観察準備室
70	掃除機	ナショナルMC-G410	1	倉庫
71	掃除機	ナショナル MC-G510	1	プレーホール
72	応接いす	円柱用ソファー4脚組	1	玄関ホール
73	ロビーチェアー	ウチダ UB-252	1	玄関ホール
74	ロビーチェアー	ウチダ UB-252	1	玄関ホール
75	ロビーチェアー	ウチダ UB-252	1	玄関ホール
76	ロビーチェアー	ウチダ UB-252	1	玄関ホール
77	ロビーチェアー	ウチダ UB-254R台付	1	玄関ホール
78	ロビーチェアー	ウチダ UB-254R台付	1	大ホール
79	応接いす	コーキュリーソファー	1	所長室
80	ロビーチェアー	ウチダ UB-257背なし	1	大ホール
81	ロビーチェアー	ウチダ UB-257背なし	1	玄関ホール
82	ビジネスキッチン	ウチダ TYPE-120 エlegant	1	事務室
83	演台	コクヨ WA-KA50F5PIC	1	小ホール
84	作業台	木製	1	倉庫
85	コンプレッサー	日立オイルフリー	1	研修課小屋
86	チェーンソー	新ダイワ	1	倉庫
87	バンドソー	TR-402EMB	1	玄関ホール
88	歩行型草刈機	本田技研 UM2460K1JB	2	倉庫
89	刈払機	マキタ EM253RA	1	倉庫
90	発電機	スズキ SV-2300H	1	倉庫
91	発電機	富士重工業(株)SGi38SE	1	倉庫

種差少年自然の家 備品台帳

別紙 5

整理番号	品名	規格	個数	配置
92	発電機	富士重工業(株)SGi38SE	1	野外・レク準備室
93	除雪機	ヤマハ YSR-1390A	1	倉庫
94	防犯カメラ一式	ワイヤレスモニターセット 他4	1	玄関ホール、倉庫外
95	薬注装置	CPI-30L	1	ボイラー室
96	ジグザクミシン	ジャノメ580型DX	1	医務室
97	ジグザクミシン	ジャノメ580型DX	1	リネン室(2階)
98	ローリングタワー	2段	1	イナバ倉庫
99	物置	イナバMBW-105H	1	車庫右後方
100	ポータブル電源	マキタ PAC100	1	医務室
102	更衣ロッカー	コクヨMD-L660	1	所長室
103	車椅子	エンセル社	1	身障者対応室(101号室)
104	救急ベット	三つ折り式ベットかがみTH-3N	1	医務室
105	AED	フィリップス ハートスタートFRx	1	玄関ホール
107	OHP	11番3M66WGF	1	大ホール(ロッカーテーブルの中)
108	デジタルビデオカメラ	ソニー CR-PC100	1	事務室
109	大型スクリーン	オーロラ GE-30DX	1	大ホール
110	カメラ	キャノン EOS Kiss	1	事務室
111	ワイヤレスアンプ	TOA WA-1812CD	1	会議室
113	ステレオ	パイオニアFS-11	1	大ホール
114	ワイヤレスアンプ	番号重複 マイク、ピンマイク、チューナーユニット	1	大ホール
115	スピーカー	SB-MX、33-M	1	大ホール
116	ポータブル型ワイヤレスアンプ	WA-1720、カセット付	1	大ホール
117	ワイヤレス装置一式	WT750B、WTU750、WM1200、YW550	1	野外・レク準備室
118	TOAアンプ	TA1060	1	野外・レク準備室
119	地デジ用テレビ	パナ TH-L37R3	1	事務室
120	地デジ用テレビ	パナ TH-L32X11	1	小ホール
121	DVDレコーダー	パナソニック DMR-XW100K	1	大ホール
123	ビジネスプロジェクタ	EPSON EB-W05	1	大ホール
124	マルチメディアプロジェクタ	EPSON ELP-8100	1	大ホール(台とセット)
125	講義卓	ウチダ 549-0521 VW-9071	1	視聴覚準備室
126	実験机	イムラ R-331	9	自然観察室、視聴覚準備室
127	陳列ケース	上面ガラス、棚4、引戸1	1	自然観察室廊下
128	陳列ケース	上面ガラス、棚4、引戸1	1	自然観察室廊下
129	陳列ケース	上面ガラス、棚4、引戸1	1	自然観察室廊下
130	陳列ケース	上面ガラス、棚4、引戸1	1	大ホール
131	ホワイトボード	トーエー 移動式 B-740	1	大ホール
132	燭台	キャンドルサービス用	1	プレーホール
134	冷却装置	RZ-250 レイシー	1	玄関ホール
135	アクリル水槽	ニッソー、ANS-28、レイヨホンプ付、ろ過装置	1	玄関ホール(海水)
136	実態顕微鏡	ニコンSM-T	5	自然観察室
137	実態顕微鏡	ニコンSM-T	4	自然観察室
138	実態顕微鏡	ニコンSM-T	1	自然観察室

種差少年自然の家 備品台帳

別紙 5

整理番号	品名	規格	個数	配置
139	万能系のこ盤	旭万能系のこ盤	1	視聴覚準備室
140	天体望遠鏡	五藤	1	屋上出入口
141	天体望遠鏡	五藤	1	小ホール横
142	天体望遠鏡	五藤	1	小ホール横
143	天体望遠鏡	五藤	1	屋上出入口
144	天体望遠鏡	五藤	1	屋上出入口
145	水平望遠鏡	五藤 シーロスタット用	1	小ホール横
146	天体望遠鏡	ホイジャーGR-135S	2	屋上出入口
147	天体望遠鏡	SP・DX-FL80S	1	屋上出入口
148	天体望遠鏡	ビクセンGPZ-A80MF(N)	1	屋上出入口
149	天体望遠鏡(教師用)	島津SGT-80	1	小ホール横
150	天体望遠鏡	島津理科SCT-60EB	1	小ホール横
151	肋木	堅木製幅5桝製	2	プレーホール
152	ソファマット	2×3×0.4m	1	プレーホール
153	デジタイマ	モルテン TOP70	1	野外・レク準備室
154	キンボールセット	キンボール、スコアボード、バック、ゼッケン、電動空気入れ、ルールブック	1	野外・レク準備室
155	バレー・テニス用品一式	支柱、支柱カバー、テニスネット、バレーネット、バレーアンテナ	1	プレーホール用具室
156	テント	小川A型	1	キャンプセンター
157	集会用テント	H4号 四方幕	1	キャンプセンター
158	テント	フライシート付 8人用小川	1	キャンプセンター
159	テント	フライシート付 8人用小川	1	キャンプセンター
160	キャンプテント	小川A型8人用No3628	2	キャンプセンター
161	アウトドアテント	ダンロップV6-8 6人用	15	キャンプセンター
162	キャンプテント	小川キャンパルA型 No3628	4	キャンプセンター
163	キャンプテント	小川キャンパルA型	4	キャンプセンター
164	キャンプテント	ダンロップV-6ドーム型フライシート付	2	キャンプセンター
165	キャンプテント	小川キャンパルA型フライシート付	1	キャンプセンター
166	キャンプテント	ドーム型フライシート付ダンロップV-6	2	キャンプセンター
167	キャンプテント	小川キャンパルA型#3628	1	キャンプセンター
168	キャンプテント	小川キャンパルA型 フライシート付3628	1	キャンプセンター
169	キャンプテント	小川キャンパルA型 フライシート付3628	1	キャンプセンター
170	ドームテント	ダンロップV-6カバー付	1	キャンプセンター
171	A型キャンプテント	小川キャンパル 3628	1	キャンプセンター
172	ドームテント	ダンロップ V8	2	キャンプセンター
173	A型キャンプテント	小川キャンパル フライシート付	1	キャンプセンター
174	ドームテント	ダンロップ V8ドームテント	2	キャンプセンター
175	テント	小川キャンパル ブルー	1	車庫
176	ハンドヘルドサーモカメラ	HIK VISION DS-2TP31B-3AUF 三脚付き(SLIK GX6400)	1	医務室
177	ワイヤレスアンプ	TOA WA-2800CD-L	1	会議室
178	パワーアンプ他音響機器一式	TASCAM CD-400U 1U マルチプレーヤー、UNI-PEX BE-60 パワーアンプ	1	プレーホール
180	乗用自動車	トヨタノア MZRA95W-ARXEH	1	車庫
181	携帯型デジタル簡易無線機(たねさし8)	アイコム IC-DV75LITE	1	事務室

種差少年自然の家 備品台帳

別紙 5

整理番号	品名	規格	個数	配置
182	携帯型デジタル簡易無線機(たねさし9)	アイコム IC-DV75LITE	1	事務室
183	携帯型デジタル簡易無線機(たねさし2)	アイコム IC-DV75LITE	1	事務室
184	FF式石油ストーブ	長府製作所 FF-11000BFE	1	事務室
合計			215	

種差少年自然の家
美術品一覧表

別紙 5

番号	大分類	中分類	題名	点数	規格	配置場所	備考
1	その他	その他(はく製)	クマ	1	はく製	玄関ホール	公衆電話付近
2	その他	その他(はく製)	イタチ	1	はく製	玄関ホール	ショーケース上
3	その他	その他(はく製)	ウミネコ	1	はく製	管理棟階段	踊り場付近
4	その他	その他(はく製)	ウサギ(夏毛)	1	はく製	玄関ホール	ショーケース内
5	その他	その他(はく製)	ウサギ(冬毛)	1	はく製	玄関ホール	ショーケース内
6	その他	その他(はく製)	キツネ(ホンドギツネ)	1	はく製	玄関ホール	ショーケース内
7	その他	その他(はく製)	キジ	1	はく製	玄関ホール	ショーケース内
8	その他	その他(はく製)	マガモ	1	はく製	玄関ホール	ショーケース上
9	その他	その他(はく製)	リス	1	はく製	玄関ホール	ショーケース内
10	その他	その他(はく製)	キジ	1	はく製	玄関ホール	ショーケース上
11	その他	その他(はく製)	ウサギ	1	はく製	玄関ホール	ショーケース上
12	その他	その他(はく製)	ニワトリ	1	はく製	玄関ホール	ショーケース上
13	その他	その他(はく製)	カモシカ	1	はく製	玄関ホール	正面玄関付近
14	その他	その他(写真パネル)	星座写真パネル	1	北斗七星	自然観察室前	
15	その他	その他(写真パネル)	星座写真パネル	1	サソリ座	自然観察室前	
16	その他	その他(写真パネル)	星座写真パネル	1	アルビ付近	自然観察室前	
17	その他	その他(写真パネル)	星座写真パネル	1	オリオン座	自然観察室前	
18	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	サクラソウ	プレーホール渡り廊下	
19	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	シオクグ	プレーホール渡り廊下	
20	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	ノコギリソウ	プレーホール渡り廊下	
21	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	ハマハタザオ	プレーホール渡り廊下	
22	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	ケカモノハシ	プレーホール渡り廊下	
23	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	ミチノクヤマタバコ	プレーホール渡り廊下	
24	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	ウンラン	プレーホール渡り廊下	
25	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	オカヒジキ	プレーホール渡り廊下	
26	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	マルバトウキ	プレーホール渡り廊下	
27	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	エゾヒナノウスツボ	プレーホール渡り廊下	
28	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	センダイハギ	プレーホール渡り廊下	
29	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	シバナ	プレーホール渡り廊下	
30	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	シロヨモギ	プレーホール渡り廊下	
31	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	コウボウムギ	プレーホール渡り廊下	
32	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	スナビキソウ	プレーホール渡り廊下	
33	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	イワレンゲ	プレーホール渡り廊下	
34	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	ハマヒルガオ	プレーホール渡り廊下	
35	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	ラセイタソウ	プレーホール渡り廊下	
36	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	エゾネギ	プレーホール渡り廊下	
37	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	ハマエンドウ	プレーホール渡り廊下	
38	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	コハマナス	プレーホール渡り廊下	
39	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	オニシバ	プレーホール渡り廊下	
40	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	ハマナス	プレーホール渡り廊下	
41	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	ハマニガナ	プレーホール渡り廊下	
42	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	コハマギク	プレーホール渡り廊下	
43	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	ハマギク	プレーホール渡り廊下	
44	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	ハマボッス	プレーホール渡り廊下	
45	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	カワラナデシコ	プレーホール渡り廊下	
46	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	ノハナショウブ	プレーホール渡り廊下	
47	その他	その他(写真パネル)	写真パネル	1	エゾフウロ	プレーホール渡り廊下	
48	絵画	その他	溪流	1	和紙ちぎり絵20号	玄関ホール	
49	その他	その他(パネル)	ロープの結び方	1	180×90cm	玄関ホール	
50	その他	その他(写真パネル)	八戸市階上町全域航空写真地図	1	168×265cm	宿泊棟一階廊下	

種差少年自然の家
図書一覧表

別紙 5

番号	図書名	著者名	配置場所	備考
1	青森県例規全集	編集 青森県	事務室	
2	〃	〃	〃	
3	〃	〃	〃	
4	〃	〃	〃	
5	〃	〃	〃	
6	〃	〃	〃	
7	〃	〃	〃	
8	学校関係法令集	編集文部省大臣官房, 青森県教育庁総務課	事務室	2冊 1-1. 1-2
9	〃	〃	〃	2
10	〃	〃	〃	3
11	〃	〃	〃	4
12	〃	〃	〃	5
13	〃	〃	〃	3冊 6-1. 6-2. 6-3
14	〃	〃	〃	7
15	〃	〃	〃	8
16	〃	〃	〃	3冊 9-1. 9-2. 9-3
17	〃	〃	〃	3冊 10-1. 10-2. 10-3
18	〃	〃	〃	11
19	青森県教育関係事務提要	編集 青森県教育庁	事務室	
20	地方財務実務提要	編集 地方自治制度研究会	事務室	3冊
21	青森県例規全集	編集 青森県	事務室	
22	〃	〃	〃	
23	青森県人事関係法令集	編集 青森県	事務室	2冊
24	青森県人名事典	東奥日報社	事務室	

公有財産一覧表（建物）

No.	財産名	所在地	種目	構成材料	屋根	地上階数	地下階数	竣工年月日	延面積 (㎡)
1	研修所	八戸市鮫町膳並2番地26	事務所建	鉄骨鉄筋コンクリート造	陸屋根	3	0	S50.12.8	2838.81
2	車庫	八戸市鮫町鬼場平34番地2	倉庫建	木造	亜鉛メッキ鋼板ぶき	1	0	S51.2.27	22.68
3	便所	八戸市鮫町膳ノ目平1番地7	雑屋建	木造	亜鉛メッキ鋼板ぶき	1	0	S51.7.30	26.81
4	倉庫（キャンプセンター）	八戸市鮫町膳ノ目平1番地7	倉庫建	木造	亜鉛メッキ鋼板ぶき	1	0	S51.7.30	45.36
5	倉庫	八戸市鮫町鬼場平34番地2	倉庫建	木造	亜鉛メッキ鋼板ぶき	2	0	S51.9.20	91.25
6	体育館	八戸市鮫町膳並2番地26	事務所建	鉄骨鉄筋コンクリート造	亜鉛メッキ鋼板ぶき	1	0	S50.12.8	648.90
7	スーパーハウス（物置）	八戸市鮫町遙望石72の一部	倉庫建	軽量鉄骨造	亜鉛メッキ鋼板ぶき	1	0	H24.6.12	9.00

公有財産一覧表（工作物）

No.	種目名	所在地	数量	取得年月日	建設年月日	構造形式	設置場所等
1	国旗掲揚塔	八戸市鮫町膳並平2番35	1	S51.2.27	S51.2.27	基礎部分(鉄筋コンクリート)、アルミポール(8m1本、7m2本)	正面玄関前
2	諸標	八戸市鮫町堀込下3番4	1	S51.7.12	S51.4.1	案内表示板(木造)	キャンプ場入口
3	雑工作物	八戸市鮫町膳ノ目平1番3	1	S52.1.18	S51.9.20	営火床 円形(直径3M コンクリート叩)	キャンプセンター西側
4	下水	八戸市鮫町膳並平2番33	1	S53.12.1	S53.12.1	道路排水溝 側溝(標準型L=204m 落蓋型L=187m 柵5ヶ所)	スケート場 駐車場片側 進入道路面側
5	土留	八戸市鮫町膳並平2番33	1	S53.12.1	S53.12.1	コンクリート造L=74m ブロック造L=66m 芝張 階段	研修所前庭
6	雑工作物	八戸市鮫町膳並平2番33	1	S53.12.1	S53.12.1	スケート場(W=61m D=26m アスファルト敷)	
7	水道	八戸市鮫町鬼場平34番2	1	S53.12.1	S53.12.1	屋外手洗場(杉丸ステンレス張 蛇口5ヶ所)	研修所西側
8	水道	八戸市鮫町堀込下34番3	1	S53.12.1	S53.12.1	水飲場(水飲手洗器1箇)	進入道路右側
9	照明装置	八戸市鮫町膳並平2番33	1	S54.7.5	S54.7.5	外灯設備(コンクリート柱17本 スケート場6基各ナトリウムランプ400Wマルチメーターランプ400W)	スケート場周囲 進入道路左側(進入道路11基各水銀灯100W)
10	国旗掲揚塔	八戸市鮫町膳並平2番26	1	S54.12.19	S54.6.30	国旗掲揚ポール(アルミニウム造5本 φ=75mm H=5m)	スケート場片側
11	舗床	八戸市鮫町膳並平2番26	1	S54.12.19	S54.6.30	アスファルト舗装 舗装面積2430.4㎡	研修所前側 進入道路
12	水道	八戸市鮫町膳ノ目平1番7	2	S56.3.16	S56.2.2	浸透槽(屋外排水設備L=246m 浸透槽設備2箇 有孔コンクリート造 φ=1.5m H=9.72m)	キャンプセンター西側
13	水道	八戸市鮫町膳並平	1	S62.2.12	S62.2.12	スケートリンク給水管 給水栓2箇 配管口径50mm	
14	舗床	八戸市鮫町膳ノ目平1-7	1	H8.10.1	H8.10.1	釜場建屋(コンクリート舗装 W=4.4m L=26.6m)	キャンプ場
15	舗床	八戸市鮫町膳ノ目平1-7	1	H8.10.23	H8.10.23	U字溝(L=27m)	キャンプ場釜場脇
16	雑工作物	八戸市鮫町鬼場平34-2	1	H9.6.9	H9.6.9	木造 屋根(硬質塩ビ板 10.5m×10.5m)	キャンプ場調理台上家
17	雑工作物	八戸市鮫町膳並平2-26	1	H18.3.30	H18.3.30	活動資材置場(金属造W4500mm×H3150mm×D7000mm 31.50㎡)	
18	舗床	八戸市鮫町膳並平2番26	1	H18.3.30	H18.3.30	アスファルト舗装 舗装面積31.80㎡	活動資材置場通路・あそびの広場通路

No.	種目名	所在地	数量	取得年月日	建設年月日	構造形式	設置場所等
19	舗床	八戸市鮫町膳並平2番26	1	H18.3.30	H18.3.30	アスファルト舗装 舗装面積182㎡	プレーホール北西側通路
20	諸標	八戸市大久保大山81番地1	1	H18.5.1	H18.5.1	案内表示板(金属造)	
21	雑工作物	八戸市鮫町鬼場平34番地2	1	H16.3.30	H16.3.30	ウォール(木造W2500mm×H2470mm×D180mm)	あそびの広場
22	雑工作物	八戸市鮫町膳並平2番33	2	H16.3.30	H16.3.30	ラインナップ(木造W4000mm×H350mm×D180mm)	スケートリンク脇
23	舗床	八戸市鮫町鬼場平34番地2	1	H20.3.31	H20.3.31	アスファルト舗装 舗装面積105㎡	キャンプ場調理場
24	舗床	八戸市鮫町膳並平2番33	1	H27.5.15	H27.5.14	アスファルト舗装 舗装面積210㎡	第2駐車場通路

※ スケート場は、現在は第2駐車場として使用。

令和5・6・7年度 種差少年自然の家 主催事業 実施状況

事業名	趣旨	参加対象・定員	参加費	活動内容	参加実績	
たねさしワールド「春を感じて」						
R5	5/14	年長児、小・中学生が家族や仲間との触れ合いながら、自然体験活動や創作活動などを体験する機会を提供して、心豊かでたくましい子どもを育てる。(「みちのく潮風トレイル」のコースにもなっている種差海岸のハイキングを通して、春の草花や野鳥の観察、ビーチコーミング等を行い、種差の自然を満喫する。)	年長児、小・中学生とその保護者 100名	550円	・ハイキング ・春の草花観察 ・ビーチコーミング ・野鳥観察 ・海の宝物ストラップ ほか	97名
R6	5/12	年長児、小・中学生が家族や仲間との触れ合いを深めながら、自然体験活動や創作活動などを体験する機会を提供して、心豊かでたくましい子どもを育てる。(「みちのく潮風トレイル」である種差海岸のハイキングを通して、自然の中を散策することの気持ちよさを味わう。)	年長児、小・中学生とその保護者 100名	550円	・ハイキング ・春の草花観察 ・ビーチコーミング ・野鳥観察 ・砂鉄ストラップづくり ほか	93名
R7	5/11	年長児、小・中学生が家族や仲間との触れ合いを深めながら、自然体験活動や創作活動などを体験する機会を提供して、心豊かでたくましい子どもを育てる。(「みちのく潮風トレイル」である種差海岸のハイキングを通して、自然の中を散策することの気持ちよさを味わう。)	年長児、小・中学生とその保護者 100名	600円	・ハイキング ・春の草花観察 ・ビーチコーミング ・野鳥観察 ・オリジナルキーホルダーづくり ほか	103名
たねさしワールド「エンジョイ！海遊び」						
R5	7/1 7/2 9/2 9/3	年長児、小・中学生が家族や仲間との触れ合いを深めながら、自然体験活動や創作活動などを体験する機会を提供して、心豊かでたくましい子どもを育てる。	年長児、小・中学生とその保護者 各日100名	晴天時 550円 雨天時 470円	・いかだ遊び ・カヌー体験 ・サンドクラフト ・磯活動 ・ニュースポーツ ・たねさしアロマアート ほか	7/1 119名 7/2 113名 9/1 109名 9/2 133名
R6	7/6 7/7 8/31 9/1	年長児、小・中学生が家族や仲間との触れ合いを深めながら、自然体験活動や創作活動などを体験する機会を提供して、心豊かでたくましい子どもを育てる。	年長児、小・中学生とその保護者 各日100名	晴天時 550円 雨天時 470円	・いかだ遊び ・カヌー体験 ・サンドクラフト ・磯活動 ・ニュースポーツ ・貝がらアート ほか	7/6 133名 7/7 122名 8/31 124名 9/1 138名
R7	6/28 6/29 9/6 9/7	年長児、小・中学生が家族や仲間との触れ合いを深めながら、自然体験活動や創作活動などを体験する機会を提供して、心豊かでたくましい子どもを育てる。	年長児、小・中学生とその保護者 各日100名	晴天時 600円 雨天時 520円	・いかだ遊び ・カヌー体験 ・サンドクラフト ・磯活動	6/28 129名 6/29 133名 9/6 124名 9/7 98名
たねさしワールド「秋を感じて」						
R5	10/15	年長児、小・中学生が家族や仲間との触れ合いを深めながら、自然体験活動や創作活動などを体験する機会を提供して、心豊かでたくましい子どもを育てる。(フィールドビンゴや自然物を使った創作活動、焼きいもづくりを通して秋の自然を楽しむ。)	年長児、小・中学生とその家族 100名	550円	・フィールドビンゴ ・焼きいもづくり ・モバイルづくり	108名
R6	10/13	年長児、小・中学生が家族や仲間との触れ合いを深めながら、自然体験活動や創作活動などを体験する機会を提供して、心豊かでたくましい子どもを育てる。	年長児、小・中学生とその家族 100名	500円	・ツリークライミング体験 ・火起こし体験 ・秋の冒険ウォーク ・マープリングアートづくり	125名
R7	10/19	年長児、小・中学生が家族や仲間との触れ合いを深めながら、自然体験活動や創作活動などを体験する機会を提供して、心豊かでたくましい子どもを育てる。	年長児、小・中学生とその家族 100名	550円	・秋の森オリエンテーリング ・ディスクゴルフ ・モルック ・松かさけん玉づくり ほか	43名
たねさしワールド「冬の季節を感じて」						
R5	12/2 12/3	創作活動をする機会を提供することにより、年長児、小・中学生と家族とのふれあいを深め、心豊かでたくましい子どもを育てる。(クリスマスリースづくりの活動を通して、冬の季節や自然を楽しむ。)	年長児、小・中学生とその保護者 各日50名	650円	・つる巻き作業に挑戦 ・クリスマスリースづくり	56名 71名
R6	12/7 12/8	創作活動をする機会を提供することにより、年長児、小・中学生と家族とのふれあいを深め、心豊かでたくましい子どもを育てる。(しめ飾りづくりの活動を通して、冬の季節や伝統、自然を楽しむ。)	年長児、小・中学生とその保護者 各日50名	650円	・稲わらの縄ない ・しめ縄の飾り付け	40名 66名
R7	12/6 12/7	自然体験活動や創作活動をする機会を提供することにより、年長児、小・中学生と家族や仲間とのふれあいを深め、心豊かでたくましい子どもを育てる。(ミニ門松を作る活動を通して、季節の行事に親しみ、親子で創意工夫することを楽しむ。)	年長児、小・中学生とその保護者 各日50名	750円	・ミニ門松づくり	53名 65名
たねさしワールド「エンジョイ！雪遊び」						
R5	2/3 2/4	幼児、小・中学生が家族や仲間との触れ合いを深めながら、自然体験活動や創作活動などを体験する機会を提供して、心豊かでたくましい子どもを育てる。(スノーチューブすべりなどの活動を通して、冬の自然に親しみとともに野外遊びを楽しむ。)	幼児(4歳以上)・小・中学生とその家族 各日100名	580円	・スノーチューブすべり ・ニュースポーツ ・ぐにやぐにや風遊び ・南部せんべい焼き体験 ほか	2/3 108名 2/4 119名
R6	2/1 2/2	幼児、小・中学生が家族や仲間との触れ合いを深めながら、自然体験活動や創作活動などを体験する機会を提供して、心豊かでたくましい子どもを育てる。(スノーチューブすべりなどの活動を通して、冬の自然に親しみとともに野外遊びを楽しむ。)	幼児(4歳以上)・小・中学生とその家族 各日100名	580円	・スノーチューブすべり ・ニュースポーツ ・ぐにやぐにや風遊び ・南部せんべい焼き体験 ほか	2/1 110名 2/2 111名
R7	1/31 2/1	幼児、小・中学生が家族や仲間との触れ合いを深めながら、自然体験活動や創作活動などを体験する機会を提供して、心豊かでたくましい子どもを育てる。(スノーチューブすべりなどの活動を通して、冬の自然に親しみとともに野外遊びを楽しむ。)	幼児(4歳以上)・小・中学生とその家族 各日100名	630円	・スノーチューブすべり ・そり遊び ・ぐにやぐにや風遊び ・南部せんべい焼き体験 ほか	2/1 119名 2/2 117名

事業名		趣旨	参加対象・定員	参加費	活動内容	参加実績
たねさしワールド「こども大作戦」						
R5	2/24～25 (3・4年生) 3/2～3 (1・2年生)	小学校中学年及び低学年の子どもたちに、宿泊生活体験や活動プログラムの体験の場を提供することで、自立心を育てる。(子どもだけで宿泊して、基本的な生活習慣を学び、様々な体験活動を楽しむ。)	小学校3・4年生及び1・2年生の児童各回40名	2,200円	・なかよしタイム ・キャンドルランタンづくり ・生活体験活動(布団敷き、身支度、掃除、食事の準備等) ・星空ナイトハイク ・館内ツリーライミング ・スノーチューブすべり ・フォトフレームづくり ほか	2/24～25 58名 3/2～3 59名
R6	2/22～23 (3・4年生) 3/1～2 (1・2年生)	小学校中学年及び低学年の子どもたちに、宿泊生活体験や活動プログラムの体験の場を提供することで、自立心を育てる。(子どもだけで宿泊して、基本的な生活習慣を学び、様々な体験活動を楽しむ。)	小学校3・4年生及び1・2年生の児童各回40名	2,100円	・なかよしタイム ・生活体験活動(布団敷き、身支度、掃除、食事の準備等) ・ちょうちんづくり ・星空ちょうちんハイク ・館内ツリーイング ・スノーチューブ ・砂鉄ストラップづくり ほか	2/22～23 57名 3/1～2 56名
R7	2/21～22 (3・4年生) 3/7～8 (1・2年生)	小学校中学年及び低学年の子どもたちに、宿泊生活体験や、自然物・自然現象と触れる原体験を提供することで、好奇心、完成、探求する意欲と自立心を育てる。(子どもだけで宿泊して、基本的な生活習慣を学び、様々な体験活動を楽しむ。)	小学校3・4年生及び1・2年生の児童各回40名	2,400円	・なかよしタイム ・生活体験活動(布団敷き、身支度、掃除、食事の準備等) ・マッチすり体験、キャンドルスタンドづくり ・夜のネイチャーゲーム ・館内ツリーイング ・スノーチューブ ほか	2/21～22 57名 3/7～8 59名
おいでよ！サマーキャンプ						
R5	A日程： 7/29～30 B日程： 8/5～6	小・中学生が仲間とのふれあいを深めながら、野外での生活を体験する機会を提供し、心豊かでたくましい子どもを育てる。(野外活動や野外炊事等を通して、自然に興味をもたせ、緊急時にも活用できる技術を習得し、仲間と協力する心を育てる。)	小学5年生～中学3年生 30名	2,000円	・テント泊 ・友達づくり ・野外炊事 ・火おこし、キャンプファイヤー、わくわくウォーク ほか	A日程 37名 B日程 24名
R6	A日程： 7/30～31 B日程： 8/10～11	小・中学生が仲間とのふれあいを深めながら、野外での生活を体験する機会を提供し、心豊かでたくましい子どもを育てる。(野外活動や野外炊事等を通して、自然に興味をもたせ、緊急時にも活用できる技術を習得し、仲間と協力する心を育てる。)	小学5年生～中学3年生 各30名	2,100円	・テント泊 ・友達づくり ・火おこし ・野外炊事 ・いかに活動 ・キャンドルファイヤー 他	A日程 39名 B日程 37名
R7	A日程： 7/26～27 B日程： 8/9～10	小・中学生が仲間とのふれあいを深めながら、野外での生活を体験する機会を提供し、心豊かでたくましい子どもを育てる。(野外活動や野外炊事等を通して、自然に興味をもたせ、緊急時にも活用できる技術を習得し、仲間と協力する心を育てる。)	小学5年生～中学3年生 各30名	2,300円	・テント泊 ・友達づくり ・野外炊事 ・キャンプファイヤー ・海活動(磯遊び、サンドクラフト)	A日程 33名 B日程 34名
わくわくどきどきウィンターキャンプ						
R5	12/25～27	小・中学生が仲間とのふれあいを深めながら、野外での生活を体験する機会を提供し、心豊かでたくましい子どもを育てる。(冬の野外泊や野外炊事、発見ウォークなどの体験活動を通して、仲間と協力し支え合う心を育てる。)	小学5年生～中学3年生 20名	3,600円	・テント泊 ・炊事活動 ・友達づくり ・発見ウォーク ・火起こし体験 ・ボンファイヤー ・記念クラフト	26名
R6	12/25～27	小・中学生が仲間とのふれあいを深めながら、野外での生活を体験する機会を提供し、心豊かでたくましい子どもを育てる。(冬の野外泊や野外炊事、発見ウォークなどの体験活動を通して、仲間と協力し支え合う心を育てる。)	小学5年生～中学3年生 20名	3,800円	・テント泊 ・野外炊事 ・友達づくり ・蒸しパンづくり ・ボンファイヤー ・記念クラフト	26名
R7	12/24～26	小・中学生が仲間とのふれあいを深めながら、野外での生活を体験する機会を提供し、心豊かでたくましい子どもを育てる。(冬の野外泊や野外炊事、発見ウォークなどの体験活動を通して、仲間と協力し支え合う心を育てる。)	小学5年生～中学3年生 20名	4,000円	・テント泊 ・野外炊事 ・友達づくり ・ソロキャンプ飯 ・発見ウォーク ・ボンファイヤー ・記念クラフト	29名
親子の絆 防災キャンプ						
R5	9/23～24	小・中学生が家族や仲間と協力しながら、災害時に役立つ知識を習得したり技能を高めたりして、いざという時の判断力や行動力を育てる。「防災講話」による知識の習得、「アウトドアから学ぶ避難所体験」、「AED講習」等の活動を通して防災力の向上を図るとともに、親子の絆を深める。	小・中学生を含む家族及び防災教育に関心のある方 30名	1,500円	・防災講話 ・テント設営、テント泊 ・炊き出し体験 ・段ボールトレイづくり ・心配蘇生法、AED講習 ほか	42名
R6	9/21～22	小・中学生が家族や仲間と協力しながら、災害時に役立つ知識を習得したり技能を高めたりして、いざという時の判断力や行動力を育てる。「防災講話」による知識の習得、「アウトドアから学ぶ避難所体験」、「AED講習」等の活動を通して防災力の向上を図るとともに、親子の絆を深める。	小学3年～中学3年生を含む家族 10組30名程度	1,600円	・防災講話 ・かんたん蒸しパン作り ・テント設営、テント泊 ・炊き出し体験 ・心肺蘇生法、AED講習 ほか	41名
R7	9/27～28	小・中学生が家族や仲間と協力しながら、災害時に役立つ知識を習得したり技能を高めたりして、いざという時の判断力や行動力を育てる。「防災講話」による知識の習得、「アウトドアから学ぶ避難所体験」、「AED講習」等の活動を通して防災力の向上を図るとともに、親子の絆を深める。	小学3年生以上・中学生・高校生とその保護者 10組30名程度 防災教育に関心のある方	2,000円	・防災講話 ・空き缶ランタンづくり ・避難所体験 ・防災オリエンテーリング (段ボールベッド体験、新聞スリッパづくり、避難バッグゲーム) ほか	43名

令和5・6・7年度 種差少年自然の家 自主事業 実施状況

事業名		趣旨	参加対象・定員	参加費	事業内容	参加実績
ノルディックで健康ウォーク 春						
R5	大人の体験活動入門～ノルディックウォーキング 春～ 4/22	ノルディックポールを使って「みちのく潮風トレイル」(種差海岸遊歩道)を歩くことを通し、健康意識を高めながら体力の維持・向上を目指す。	成人30名	450円	・基礎練習 ・「みちのく潮風トレイル」での実践	13名
R6	大人の体験活動入門～ノルディックウォーキング 春～ 4/20	ノルディックポールを使って「みちのく潮風トレイル」(種差海岸遊歩道)を歩くことを通し、健康意識を高めながら体力の維持・向上を目指す。	成人30名	450円	・基礎練習 ・「みちのく潮風トレイル」での実践	18名
R7	大人の体験活動入門～ノルディックウォーキング 春～ 4/19	ノルディックポールを使って「みちのく潮風トレイル」(種差海岸遊歩道)を歩くことを通し、健康意識を高めながら体力の維持・向上を目指す。	成人30名	500円	・基礎練習 ・「みちのく潮風トレイル」での実践	25名
ノルディックで健康ウォーク 秋						
R5	大人の体験活動入門～ノルディックウォーキング 晩秋～ 10/28	ノルディックポールを使って種差少年自然の家周辺及び「みちのく潮風トレイル」(種差海岸遊歩道)を歩くことを通し、健康意識を高めながら体力の維持・向上を目指す。	成人30名	450円	・基礎練習 ・「みちのく潮風トレイル」での実践	5名
R6	大人の体験活動入門～ノルディックウォーキング 晩秋～ 10/26	ノルディックポールを使って種差少年自然の家周辺及び「みちのく潮風トレイル」(種差海岸遊歩道)を歩くことを通し、健康意識を高めながら体力の維持・向上を目指す。	成人30名	450円	・基礎練習 ・「みちのく潮風トレイル」での実践	9名
R7	大人の体験活動入門～ノルディックウォーキング 晩秋～ 10/25	ノルディックポールを使って種差少年自然の家周辺及び「みちのく潮風トレイル」(種差海岸遊歩道)を歩くことを通し、健康意識を高めながら体力の維持・向上を目指す。	成人30名	500円	・基礎練習 ・「みちのく潮風トレイル」での実践	26名
星のつどい 春						
R5	たねさし 星のW☆RLD～ひろのまきば天文台ツアー～ 5/3	親子での星空観察を通し、親子の感動体験の機会を提供し心豊かな子どもたちの成長を図り、親子の絆を深める。	星に興味のある方(児童生徒は保護者同伴) 30名	高校生以上 210円 小・中学生 100円 (天文台入館料)	・ひろのまきば天文台見学 ・星空の観察、解説	29名
R6	たねさし 星のW☆RLD～ひろのまきば天文台ツアー～ 5/3	親子での星空観察を通し、親子の感動体験の機会を提供し心豊かな子どもたちの成長を図り、親子の絆を深める。	星に興味のある方(児童生徒は保護者同伴) 30名	高校生以上 210円 小・中学生 100円 (天文台入館料)	・ひろのまきば天文台見学 ・星空の観察、解説 ・DVD視聴	35名
R7	たねさし 星のW☆RLD～ひろのまきば天文台ツアー～ 5/3	親子での星空観察を通し、親子の感動体験の機会を提供し心豊かな子どもたちの成長を図り、親子の絆を深める。	星に興味のある方(児童生徒は保護者同伴) 30名	高校生以上 300円 小・中学生 150円 (天文台入館料)	・ひろのまきば天文台見学 ・星空の観察、解説	27名
星のつどい 夏						
R5	たねさし 星のW☆RLD～ペルセウス流星群2023～ 8/12【荒天のため中止】	親子での星空観察を通し、親子の感動体験の機会を提供し心豊かな子どもたちの成長を図り、親子の絆を深める。	小・中学生とその保護者及び家族、成人(児童生徒は保護者同伴) 30名	無料	・星空の観察(ペルセウス流星群) ・常設テント宿泊(希望者)	1名
R6	たねさし 星のW☆RLD～ペルセウス流星群～ 8/12【荒天のため中止】	親子での星空観察を通し、親子の感動体験の機会を提供し心豊かな子どもたちの成長を図り、親子の絆を深める。	星に興味のある方(児童生徒は保護者同伴) 30名	無料	・星空の観察	1名
R7	たねさし 星のW☆RLD～ペルセウス流星群2025～ 8/12	星空観察を通し、感動体験の機会を提供し心豊かな子どもたちの成長を図り、親子の絆を深める。	星に興味のある方(児童生徒は保護者同伴) 50名	無料	・星空の観察(ペルセウス流星群)	55名
星のつどい 秋						
R5	たねさし 星のW☆RLD～天体撮影に挑戦～ 11/19	親子での星空観察を通し、親子の感動体験の機会を提供し心豊かな子どもたちの成長を図り、親子の絆を深める。	年長児、小・中学生とその保護者及び家族、成人(児童生徒は保護者同伴) 30名	無料	(雨天のため当初から変更) ・プロジェクターに映し出した天体写真の撮り方 ・星座キーホルダーづくり	18名
R6	たねさし 星のW☆RLD～ビーバームーンを撮影しよう～ 11/16	親子での星空観察を通し、親子の感動体験の機会を提供し心豊かな子どもたちの成長を図り、親子の絆を深める。	年長児、小・中学生とその保護者及び家族、成人(児童生徒は保護者同伴) 6家族程度	無料	・天体写真の撮り方説明 ・ビーバームーン撮影	10名
R7	たねさし 星のW☆RLD～土星と秋の四辺形～ 11/22	親子での星空観察を通し、感動体験と創作活動の機会を提供し心豊かな子どもたちの成長を図り、親子の絆を深める。	年長児、小・中学生とその保護者及び家族、成人(児童生徒は保護者同伴) 6家族程度	無料	・星空の観察(土星、秋の四辺形、夏の大三角)	16名

事業名		趣旨	参加対象・定員	参加費	事業内容	参加実績
星のついで 冬						
R5	たねさし 星のW☆RLD～オリオン座物語～ 2/12	親子での星空観察を通し、感動体験と創作活動の機会を提供し、心豊かな子どもたちの成長を図るとともに親子の絆を深める。	年長児、小・中学生とその保護者及び家族、成人(児童生徒は保護者同伴) 30名	無料	・星空の観察 (オリオン座、冬の大三角、冬のダイヤモンド、木星)	11名
R6	たねさし 星のW☆RLD～勇者オリオン物語～ 2/11	親子での星空観察を通し、感動体験と創作活動の機会を提供し、心豊かな子どもたちの成長を図るとともに親子の絆を深める。	年長児、小・中学生とその保護者及び家族、成人(児童生徒は保護者同伴) 30名	無料	・星空の観察 (オリオン座、冬の大三角、冬のダイヤモンド、木星)	17名
R7	たねさし 星のW☆RLD～シリウスとベテルギウス～ 2/11	親子での星空観察を通し、感動体験と創作活動の機会を提供し、心豊かな子どもたちの成長を図るとともに親子の絆を深める。	年長児、小・中学生とその保護者及び家族、成人(児童生徒は保護者同伴) 30名	無料	・星空の観察 (シリウス、ベテルギウス、木星、土星)	17名
親子宿泊体験						
R5	親子で宿泊体験 ～レッツエンジョイ！たね坊キャンプ～ 8/26～27	ひとり親家庭や障がいがあったり、学校に行きづらくなったりしている児童・生徒を含む家族に自然体験活動や創作活動を通して自己肯定感を向上させたり、自然の家での宿泊体験を通して規則正しい生活の良さを感じさせたりして、親子同士の絆を深める。	小学3年生～中学3年生の児童生徒とその保護者 6家族20名程度	1,650円	・ネイチャーゲーム ・空き缶ランタン作り ・野外炊事 ・いかだ作りといかだ遊び 等	15名
R6	親子で宿泊体験 ～レッツエンジョイ！たね坊キャンプ～ 8/24～25	ひとり親家庭や障がいがあったり、学校に行きづらくなったりしている児童・生徒を含む家族に自然体験活動や創作活動を通して自己肯定感を向上させたり、自然の家での宿泊体験を通して規則正しい生活の良さを感じさせたりして、親子同士の絆を深める。	小学3年生～中学3年生の児童生徒とその保護者 6家族20名程度	1,750円	・せんべい焼き ・夜のネイチャーゲーム ・野外炊事 ・サンドクラフト ・砂鉄ストラップづくり 等	9名
R7	親子で宿泊体験 ～レッツエンジョイ！たね坊キャンプ～ 8/30～31	児童・生徒とその家族に自然体験活動や創作活動を通して自己肯定感を向上させたり、自然の家での宿泊体験を通して規則正しい生活の良さを感じさせたりして、親子同士の絆を深める。	ひとり親家庭や、障がいがあったり学校に行きづらくなったりしている小学3年生～中学3年生の児童生徒とその保護者 6家族20名程度	2,250円	・仲良しゲーム ・ちようちん作り ・野外炊事 ・星空ちようちんハイク ・いかだ作りといかだ遊び 等	10名
種差少年自然の家まつり						
R5	親子の体験活動 種差少年自然の家まつり 11/5	親子の感動体験と創作活動の機会を提供し、心豊かな子どもたちの成長を図り、親子の絆を深め、地域の団体や教育施設、ボランティア団体と連携し、活力ある持続可能な地域づくりを推進する。	年長児、小・中学生とその保護者 80名	無料 (創作活動は別途料金)	各種団体によるプログラム ・ニュースポーツ ・太陽の観察 ・エコ鉛筆づくり ・オリジナル掛軸 等	125名
R6	親子の体験活動 種差少年自然の家まつり 11/9	親子の感動体験と創作活動の機会を提供し、心豊かな子どもたちの成長を図り、親子の絆を深め、地域の団体や教育施設、ボランティア団体と連携し、活力ある持続可能な地域づくりを推進する。	年長児、小・中学生とその保護者 80名	無料 (創作活動は別途料金)	各種団体によるプログラム ・ニュースポーツ ・太陽の観察 ・伐木体験 ・救命浮き環ストラップ 等	117名
R7	親子の体験活動 種差少年自然の家まつり 11/9	親子の感動体験と創作活動の機会を提供し、心豊かな子どもたちの成長を図り、親子の絆を深め、地域の団体や教育施設、ボランティア団体と連携し、活力ある持続可能な地域づくりを推進する。	年長児、小・中学生とその保護者 80名	無料 (創作活動は別途料金)	各種団体によるプログラム ・ニュースポーツ ・伐木体験 ・ダイビング機材着用 ・SORA-Q操作体験 等	79名
野外炊事教室						
R5	親子の体験活動 野外炊事教室～くん製料理&フライパンピザ～ 11/23	親子を対象とし、当施設への関心を深めるとともに施設利用の促進を図る。(ダッチオープンでくん製を、フライパンでピザを作ることにより、親子のふれあいを通して自然体験に対する興味や関心を高める。)	小学3年生～中学3年生を含む家族10組30名程度	1人20円 +1家族1,200円	・火起こし ・ソーセージとウインナーのくん製作り ・フライパンを使ったピザ作り	45名
R6	親子の体験活動 野外炊事教室～ダッチオープンで作る豚キムチの炊き込みご飯～ 11/23	親子を対象とし、当施設への関心を深めるとともに施設利用の促進を図る。(初心者でも簡単にダッチオープンで炊き込みご飯をつくることにより、親子のふれあいを通して自然体験に対する興味や関心を高める。)	小学3年生～中学3年生を含む家族10組30名程度	1人20円 +1家族1,400円	・火起こし ・豚キムチと梅干の炊き込みご飯作り ・韓国海苔で水菜のサラダ作り	42名
R7	親子の体験活動 野外炊事教室～ダッチオープンで簡単シーフードバエリア～ 11/15	親子を対象とし、当施設への関心を深めるとともに施設利用の促進を図る。(ダッチオープンでシーフードバエリアをつくることにより、親子のふれあいを通して自然体験に対する興味や関心を高める。)	小学3年生～中学3年生を含む家族10組30名程度	1人20円 +1家族1,800円	・火起こし ・シーフードバエリア作り ・焼きりんご作り	19名

事業名		趣旨	参加対象・定員	参加費	事業内容	参加実績
郷土民芸品を作ろう						
R5	親子の体験活動 南部姫毬をつくろう 1/14	南部地方の郷土民芸品「南部姫毬」の制作体験をすることにより、地域の伝統文化に触れ親子のふれあいを深める。	小・中学生とその家族 8組20名程度	950円	・南部姫毬づくり ・南部姫毬ストラップづくり	16名
R6	親子の体験活動 ミニたたまみ南部せんべい 1/12	「ミニたたまみ」を制作することで、日本の伝統的な生活様式の良さに触れ、「南部せんべい焼き」を通して、郷土食への興味関心を高める。	年長児～小学生を含む家族 16組	作成物による	・ミニたたまみ作り ・南部せんべい作り ・ミニたたまみコースター作り	23名
R7	親子の体験活動 段ボール織り機でコースター作り 1/11	「段ボール織り機製作」と「コースターづくり」を通して、昔からある「機織り」の良さに触れ、伝承文化への興味関心を高める。	年長児、小・中学生とその保護者及び家族 7組20名程度	400円	・段ボール織り機作り ・コースター作り	15名
陶芸教室						
R5	親子の体験活動 陶芸教室 1/20	親子での作陶体験を通して豊かな感受性と創造性を培うとともに、伝統文化に触れ、親子の絆を深める。	小・中学生とその保護者 30名	1,500円	作陶体験	36名
R6	親子の体験活動 陶芸教室 3/23	親子での作陶体験を通して豊かな感受性と創造性を培うとともに、伝統文化に触れ、親子の絆を深める。	小・中学生とその保護者 30名	2,000円	・作陶体験 ・ろくろ体験	38名
R7	親子の体験活動 陶芸教室 3/22	親子での作陶体験を通して豊かな感受性と創造性を培うとともに、伝統文化に触れ、親子の絆を深める。	小・中学生とその保護者 30名	2,000円	・作陶体験 ・絵付け体験	49名
親子料理教室						
R5	親子の体験活動 親子料理教室 3/17	「花の巻きずし」を通して、日本食への関心を高め、親子で一緒に作業することにより、料理をする楽しさや達成感を味わう。	小学生を含む家族 10組30名程度	400円	・花の飾り巻きずしづくり ・試食会	34名
R6	親子の体験活動 親子料理教室 3/16	長野県の郷土料理の一つである「おやき」づくりを通して、日本食への関心を高め、親子で一緒に作業することにより、料理をする楽しさや達成感を味わう。	小学生を含む家族 10組30名程度	200円	・おやきづくり ・試食会	26名
R7	親子の体験活動 親子料理教室 3/15	おやつづくりを通して、親子のふれあいを深めるとともに、身近な材料を使用し料理をする楽しさや達成感を味わう。	小学生を含む家族 10組30名程度	400円	・ぐるぐるアイスクリームづくり ・クレープづくり ・試食会	27名
郷土玩具を作って遊ぼう						
R5	大人の体験活動入門 郷土玩具(けりごま)を作って遊ぼう 3/24	成人や親子が郷土玩具を作成したり、遊んだりすることを通して、創造力を生かして玩具を作る成就感、それを使って遊ぶ達成感を高めるとともに、参加者同士の交流を深める。	成人及び親子 30名	無料	・けりごまづくり ・けりごま遊び(個人戦、団体戦)	19名
R6	大人の体験活動入門 郷土玩具(けりごま)を作って遊ぼう 1/26	成人や親子が郷土玩具を作成したり、遊んだりすることを通して、創造力を生かして玩具を作る成就感、それを使って遊ぶ達成感を高めるとともに、参加者同士の交流を深める。	成人及び親子 30名	無料	・けりごまづくり ・けりごま遊び(個人戦、団体戦)	22名
R7	大人の体験活動入門 郷土玩具(けりごま)を作って遊ぼう 1/25	成人や親子が郷土玩具を作成したり、遊んだりすることを通して、創造力を生かして玩具を作る成就感、それを使って遊ぶ達成感を高めるとともに、参加者同士の交流を深める。	成人及び親子 30名	無料	・けりごまづくり ・けりごま遊び(個人戦、団体戦)	10名

令和5・6・7年度 種差少年自然の家 引率者・指導者等研修事業 実施状況

事業名		趣旨	参加対象・定員	参加費	活動内容	参加実績
在学少年宿泊指導者研修						
R5	4/27～28	種差少年自然の家を利用する小・中学校及び特別支援学校の引率教員を対象に、自然体験・生活体験を通して児童・生徒の「生きる力」を育むために必要な知識・技能の習得を目的とした研修を実施する。	利用を予定している小・中学校及び特別支援学校の引率教員	2,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「社会教育施設としての少年自然の家、利用の仕方」「書類の書き方と変更点について」 ・実習 <ul style="list-style-type: none"> 実習1 火おこし・焼板クラフト ニュースポーツ アドベンチャーゲーム ネイチャーゲーム 実習2 ナイトハイク・ボンファイヤー キャンドルファイヤー 創作活動 実習3 タイヤチューブいかだ スチロバルいかだ 磯の生物観察・磯遊び・サンドクラフト 漁港での避難場所・避難経路について 避難訓練 ・演習「事前打合せ」 	53名
R6	4/25～26			2,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「社会教育施設としての少年自然の家、利用の仕方」「書類の書き方と変更点について」 ・実習 <ul style="list-style-type: none"> 実習1 焼板クラフト・火おこし アドベンチャーゲーム せんべい焼き 磯の生物観察・磯遊び 実習2 ボンファイヤー・ナイトハイク キャンドルファイヤー 創作活動 実習3 タイヤチューブいかだ スチロバルいかだ ニュースポーツ ・演習「事前打合せ」 	56名
R7	4/24～25			2,550円	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「社会教育施設としての少年自然の家、利用の仕方」「書類の書き方と変更点について」 ・実習 <ul style="list-style-type: none"> 実習1 焼板クラフト・火おこし アドベンチャーゲーム せんべい焼き 磯の生物観察・磯遊び 実習2 ボンファイヤー・ナイトハイク キャンドルファイヤー 創作活動 実習3 タイヤチューブいかだ スチロバルいかだ その他の活動 ・演習「事前打合せ」 	56名
自然体験活動研修会						
R5	6/3～4	少年団体指導者・市町村社会教育関係者、学校教育関係者、保育園・幼稚園関係者等に対し、自然体験活動についての実践的な研修を行うことにより、自然体験活動に対する知識や技術を向上させることをねらいとする。	少年団体指導者、市町村社会教育関係者、保育士、幼・小・中・高教員、高校生・大学生、PTA関係者、種差少年自然の家ボランティア、自然体験活動に関心のある方 35名	1,900円	<ul style="list-style-type: none"> ・実習Ⅰ ネイチャーゲーム ・実習Ⅱ ツリクライミング ・実習Ⅲ ランタン作り、火おこし ・実習Ⅳ 野外炊事・夕食 ・実習Ⅴ ナイトハイク ・実習Ⅵ スチロバルいかだ&磯遊び ・実習Ⅶ 浜カレーの準備・片付けの仕方及び昼食等 	34名
R6	5/25～26			2,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・実習Ⅰ レクリエーション ・実習Ⅱ ニュースポーツ ・実習Ⅲ アドベンチャーゲーム ・実習Ⅳ 創作活動(空き瓶ランタン) ・実習Ⅴ 野外炊事・夕食 ・実習Ⅵ 暗闇ナイトハイク ・実習Ⅶ いかだ活動、磯遊び等 	23名
R7	5/24～25			2,500円	<ul style="list-style-type: none"> ・実習Ⅰ レクリエーション ・実習Ⅱ ニュースポーツ ・実習Ⅲ アドベンチャーゲーム ・実習Ⅳ 創作活動(砂鉄ストラップ等) ・実習Ⅴ 野外炊事・夕食 ・実習Ⅵ 星空ちょうちんハイク ・実習Ⅶ いかだ活動、磯遊び等 	24名